タクシー利用者懇談会　概要

日　時：令和８年８月２６日　14：00～15：00
場　所：高知交通会館　会議室
出席者：別紙のとおり

配布資料説明後の意見

森田様

・県全体で高齢者や免許返納者が増え、タクシーはなくてはならない。
・幡多地区（特に土佐清水）は列車が無くバスのみが交通手段なのでタクシーは必要。
・物価に合わせて運賃の値上げもするべきだと考える。

植田様

・スポーツジムに通っているがタクシーを使っている人は少ない。
・物価が上がっているので運賃値上は仕方がないことだとは思うが利用者にとって値上をすることについてメリットがあればよいと思う。
・翌早朝の予約等ができない。運転手不足で翌朝の確約ができないとしたら予約を一元化して空いているタクシーを予約できるようになれば便利だと思う。利用者にサービスの還元をしてもらいたい。

安澤様

・運賃改定にあたって、事業者には運転手の給料への還元並びに利用者へのタクシーサービスの向上を求めていく。

岡林様

・値上は仕方ないと思うが運転者不足の現状で僻地への配車が可能なのか。
・住民の助け合いも必要になって来ると思う。会社ごとの配車ではなく全体で配車してもらいたい。利用者のメリットを考えてほしい。

浅井様

・県で郡部のタクシーを含む公共交通を担当している。

・タクシー事業者は通勤・通学など地域に貢献している。また、市町村のコミュニティバス受託など、その役割は重要だと認識している。

・今後の事業安定化のため、タクシー事業者のコスト UP に見合う運賃値上は必要と考える。

安澤様

・全国の運賃改定状況、運賃ブロック統合、運賃審査方法について補足説明

森田様・浅井様

・タクシーの空白地域が増えてくるのであれば交通圏の統合も考える必要があると思うが統合の要望等はないのか。

岡村

・協会へも統合の要望はあるが南国交通圏は空港があるので統合を希望しない。

・介護タクシーは交通圏が県下であることを考えれば矛盾はある。

安澤様

・交通圏が設定された当時とは状況が異なるため、見直しは必要かもしれないが全国的には事例は少ない。

・お声は稀にお聞きするが正式な要望はない。要望があれば検討する。

楠瀬

・一般的な給与体系と違い歩合制であること、最低賃金を確保しなければならない等、交通空白をつくらないために乗務員不足を解消するための努力が必要となる。

・道路を使って営業をさせていただいているので日常的に火災・人命等に早期に対応できるよう民間パトロール的な役割を担う、役に立つ業界となるよう努力をする。

・人命・身体・財産の 3A「安全・安心・安定」、事故・災害・犯罪の 3B「防止・防災・防犯」運動を業界挙げて推進中。

植田様

・待ちの姿勢ではなくタクシーの方から乗車してもらうための PR も必要なのではないか。

・数年前、バス・電車で一日無料の日があったように、タクシーをアピールする取り組みはできないか。

岡林様

・前回、降車してから家の門へ入るまで暗いのでライトで照らしてほしいと要望したらライトを点けてくれるようになった。今後もそうしたサービスを継続してもらいたい。

植田様

・これまでの値上げとは違い、昨今の状況を考えれば納得のいく値上げだと思う。

・3A・3B 運動の発信をしたらどうか。素晴らしい取り組みなので是非続けてほしい。

寺尾

・本日は貴重なご意見をいただきありがとうございました。

・今後に生かしていきたいと思います。